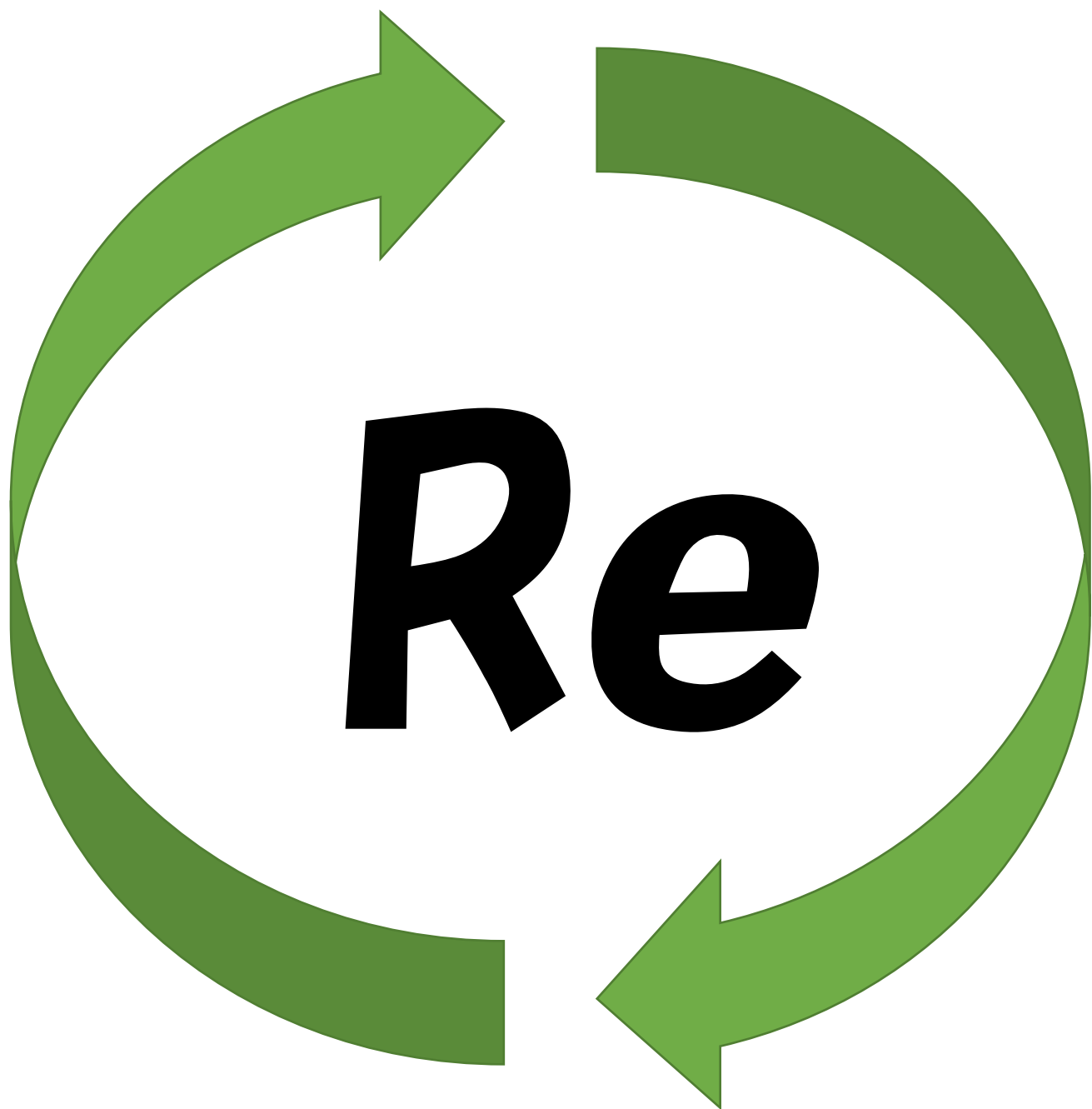


**ダンボールコンポスト
始めてみませんか？**



北名古屋市防災環境部環境課

ダンボールコンポストを始める前に知ってほしいこと

家庭ごみの中で一番多く出るのが生ごみです。生ごみは可燃ごみ袋の約4～5割と大変多く含まれており、これらの処理に大変多くの経費を要すとともに、収集や処理に大量のエネルギー消費しており環境に負荷をかけています。この生ごみをごみとせず、「もし、リサイクルできたら？」ごみ減量や環境への負荷を軽減することができる一つの「きっかけ」となります。

そこで、家で簡単に始められる「ダンボールコンポスト」をご紹介しますので、ぜひ皆さんも始めてみませんか。

ダンボールコンポストって何？

ダンボールコンポストとは、名前のとおり、ダンボールを利用したコンポスト（生ごみたい肥化容器）のことを言い、ダンボールに、基材（土壌改良材）を入れ、微生物が生ごみを分解することでたい肥を作ります。

ダンボールは通気性が良いことから、微生物の働きを助けるのに適しています。

また、においも非常に少ないことから、ダンボールサイズの広さがあれば実践できます。

1 用意するもの

- ① ダンボール箱2箱（みかん箱程度でできるだけ厚みのあるもので防水加工がされていないもの。一つはダンボールコンポストの容器、一つは土台に使います。）
- ② ダンボールの内側の底を補強するための新聞またはダンボール
- ③ ガムテープ（ダンボール補強用）
- ④ 基材（ピートモス15ℓ、もみ殻くん炭10ℓ：ホームセンター等で購入）
- ⑤ 手袋（気にならなければ必要はありません。）
- ⑥ スコップ（基材をかき混ぜたり生ごみ投入時に使います。）
- ⑦ 大きめの洗濯ネット（虫が気になる方はダンボールに被せると防止できます。）
- ⑧ 温度計（ダンボールコンポスト内の温度を測ります：任意）

2 設置場所

においは非常に少ないものの、虫が発生することがありますので、屋外に設置してください。設置にあたり、雨等でダンボールコンポストが濡れない場所にしてください。

ここまで読み、準備してくれてありがとうございます。

それではダンボールコンポストの作り方から使い方までを説明していきます。

無理なく、自分のペースで、ごみ減量や環境に寄与していきましょう！！

3 手順

(1) ダンボールコンポストの作り方

①ダンボールの底が抜けないようにガムテープでふさぎます。隙間があいていると基材がこぼれたりするので、しっかり補強してください。



②ダンボールの内側の底に、新聞またはダンボールを貼ります。基材をかき混ぜるため、できる限り厚みがあり破れにくいものを使ってください。



③ダンボールにピートモス15ℓともみ殻くんたん10ℓ（割合3：2）を入れ、よくかき混ぜてください。その際、ダンボールの半分よりやや上ぐらいが丁度よいです。ヘルシー（ぼかし）を混ぜるとより効果があります。



④水をジョーロなどで基材にかけながらよくかき混ぜてください。目安としては、手で触ってみて、基材が少し手に残るぐらいです。多少入れすぎても、日にちが経過すればすぐ乾きます。




⑤虫が気になる方は、チャック部分を上にして洗濯ネットでダンボールを覆うと発生を抑制できます。

⑥最後に、土台用ダンボールを下に設置して完成です。土台は、かごやすのこ等でも代用できます。



(2) ダンボールコンポストの使い方

<p>①生ごみは1日200～500g程度を目安にしてください（容量を超えてしまうと虫が発生しやすくなります）。</p>	
<p>②定期的に水を入れて、基材の水分を保ってください。</p>	
<p>③毎日かき混ぜてください。</p>	<p>④順調に分解が進むと温度が40℃くらいになります（温度計で測るとよい）。油を入れるとよいかもしれません。</p>
<p>投入する生ごみの注意点</p> <ul style="list-style-type: none">・野菜くず等を中心にしたほうが、においがでにくいです。・バナナの皮やキャベツ等を入れると分解が促進され早まります。・魚や肉はにおいが出やすいので、基材の底のほうに入れる等してください。・茶がらやコーヒーのカス等を入れるとにおいが緩和されます。・卵の殻、骨類、玉ねぎ、トウモロコシの皮は分解に時間がかかります。・根菜類（じゃがいも・さといも類）は分解に時間がかかります。・貝殻は分解できません。	

※生ごみ以外に花も入れてみました

(3) 堆肥化

<ul style="list-style-type: none">・生ごみは、早ければ数日から3か月まで入れたものによって堆肥化に時間を要します。・最後に生ごみを投入しても、分解が終わるまではよくかき混ぜ、水分も保つよう心がけてください。・分解が終了し、生ごみがなくなれば完成です。・完成した堆肥は畑や花壇に使用してください。

4 さいごに

ダンボールコンポストにご協力ありがとうございます。

毎日の暮らしの中で必ず出る生ごみ。夏になればにおいが出るとともに、虫が発生したりします。ダンボールコンポストがあなたの生活を改善する「きっかけ」になるかもしれません。例えば毎日300gダンボールコンポストに投入すると、月に約10kgのごみ減量となります。週2回のごみ出しが少し楽になるというメリットもあります。

「何でも捨てる」から「何かに活かそう」を心がけることで、環境に寄与できる活動になりますので、皆さんも一緒にダンボールコンポストを頑張っていきましょう。